

「新居浜弁」最高!?再考 PART3

「浦島太郎」を新居浜弁で語ってみると…

そーとー前の話なんやけど、どっかしやんの村に、**よいよーせわしい**、浦島太郎いうわかいしがおったんよ。

【そーとー前】=すいぶん前(昔) 【わかいし】=若者

浦島はんが、浜辺あるつきよつたら、子供らあが、大けなカメおっさて、**ひどこう**悪しさよつた。

【ひどこう】=ひどい様子で

「なんしょんや!**ほなにせちごうたら**、カメがかわいそうなかろげや。放したらんかい」

「え~、いやじゃ~。**必死**で、やつと捕まえたんじゃけん!」

【必死】=必死で、やつとの思いで~

カメは目えに、**ぎょうさん**涙ためて、浦島はんのほう見よつた。

【ぎょうさん】=たくさん

「**ふうわるいの一**。ほんだらの~え~、おいやんがお金やるけん、カメ売つてんや」

【ほんだらの~え~】=それならね、【おいやん】=おじさん

「うん、ほれやつたら**かまんよ**」

【かまんよ】=いいですよ

浦島はんは、子供らからカメ**もろたら**、「もう、捕まらんようにせーよ」言つて、海に放したつた。

【もろたら】=もらつたら、

カメは、**ばら**喜んで、海に帰つてつた。

ほれから二、三日(にさんち)経つて、浦島はんが、**びーこ**釣りに海きとる時に、「浦島はん、浦島はん、こないだは助けてもろて、ほんま**おおけに**」あん時のカメが、海からおつむ出しどつた。

【おおけに】=おおきに。ありがとう。

「おれしたいけん、竜宮に連れてつた**げよわい**。背中ん乗つてんや」【~げよわい】=~(して)あげる

カメは浦島はんを**おっぱ**して、海ん中に潜つてつた。

【おっぱ】=おんぶ。ここでは「背中に乗せて~」

真っ青の海ん中に、赤やらピンクやらのサンゴの林が光んりよつて、**たいがい**けっこな景色やつた。

「おー! **ばら**キレイなげや」

んで、豪華**げーな**御殿に着いたら、派手げなびーこらと、べっぴんの乙姫はんが待つちよつて**くれとつたんよ**。

【~げーな】=~そな【~くれとつたんよ】=~してくれつた。

「よー來たねえ、浦島はん。こないだ、**うつと**このカメ助けてくれたんやつてなあ。**よいよ氣の毒なかい**。お礼言つたらなんやけど、竜宮で、ようく休んでつてんよ」

【うつと】=家の、身内の

びーこらが、**かいがい**に運んでくる、おご馳走(おごつおう)食べて、タイやらヒラメやらの**踊るん觀もつて**賑やか(にんぎやか)な毎日が続つよつた。

【かいがい】=かわるがわる、交替で、
【踊るん觀もつて】=踊るのを観ながら、

あと一日(いちんち)、あと一日(いちんち)いうて、乙姫はんが言つけん、浦島はんも、**お尻に根(ねえ)**はえてきてしもて、知らんまに三年も経つてしもた。

ほじやけん言つても、**すんやりもおれんし**…。

「乙姫はん、**えかげん**で いんでこーわい」

【えかげん】=そろそろ、ぱちぱち、【いんでこーわい】=(家に)帰ります

「えー、**ほうなん**?さみしなるけど、**しゃーないわいねえ**。ほーじゃ、ええもんお土産(おんみやげ)にあげよわい。やけど、大事なもんが入つとるけん、開けたら**いかんぞね**」

新居浜市民のみなさん、おはようございました。「3匹の小豚」「赤ずきんちゃん」に続く新居浜弁昔話の第3弾。今回は「浦島太郎」じゃけん。わかいしは使わんようになった言葉もあるけんど、じいちゃん、ばあちゃんはまだ使いよろか?。こないだ新居浜に越してきたおんしらは、これ読んで新居浜弁覚えてんよ。西条もたいがい一緒じゃけんの一。



言よつたんじやないんかいねー」

【ほの】=その(人)。

「**ほんまけや!?**」

その人ん話聞いてから、浦島はんは**たまげてしもた**。竜宮での三年が、この世の七百年とおんなじやかつて…。

【たまげてしもた】=びっくりした。

浦島はんは、ごつつ**つらなつて**、**しゃーなし**、開けたらイカン言われとる玉手箱を開けてしもた。

【つらなつて】=辛くなつて。【しゃーなし】=仕方なくモクモクモク…。真っ白い煙が出てきて、浦島はんは、髪もヒゲもしろーなつて、ヨボヨボの年寄り(とつしより)になつてしまつたけん。

【なつてしまつたけん】=なつてしまつました。

おしまい。

【解説】実際には使われなくなった言葉もあります。

よいよーせわしい	とても(仕事が)忙しい。また、気のきいた人、働き者の意味。せわしい=忙しいは全国各地の方言としてあります。のひ太の(未来から来た)孫も「セワシ」君でした。
ほなにせちごうたら	ほなに=そんなに せちごうたら=いじめたら。もう少しイジメが軽度なら「きざかいする」(ちよかいたいだす)とも。せちごうのもの、きざかいするのも、良い子のみなはしないでね。
ふうわるいの一	風体が悪い=格好悪い。みっともない。見た目だけではなく、言動・行動も当てはまる。※「おんしら、ふうわるいの一」=「君たち、カッコ悪いぜ」
ばら	とても~、すごくの意味。「ばら可愛い」=「ばら厳しい」など、見た目や、思ったことの頭につけて、形容詞を強調。※ばら、ばらばらのばらじや。=すぐくバラバラの(牛)バラジヤ。←言わんて。
びーこ	「魚全般」のこと。昔は徒歩や自転車で行商さんが「おびーこ、いらんかね~」と独特のリズムとテンポで宣伝口上を唱いながら魚を販売していました。
たいがい	「そうとう~」「すごく」「とっても」。また、「たいがいに」といふとけよ」は、「いい加減にしておけよ」の意味ともなる。
よいよ氣の毒なかい。	「氣の毒」の通常意味は「不幸に同情する」だが、有り難い場合にも新居浜・西条は使う。ここでは「ありがとう」の別な言い回し。※使用例「こんなえーもん頂いて…。よいよ氣の毒なかい。」
お尻に根はえてきてしもて	(あまりの居心地の良さに)動けなくなる様。(どかと)腰を据えると言うより、「急げて動かなくなる」方に近い。※「コタツ入つたら、お尻根柢はえてしまつた」
すんやりも おれんし	すんやりも=「ずっと」 おれんし=「居ることができないし」。浦島は「これ以上長居はできないし…」と言つています。でも3年もおつてね~。
なんとなし いなげな。	なんとなし=「なんとなく」 いなげな=様子が違う、変わっている、おかしい。否(いな)げな(~のような)から来ているのでは?と、推測されます。千葉市稻毛区と関連性はない模様。
ほんまけや!?	「本当ですか?」の意。関西弁では「ほんまかいな!」三村風では「本当かよつ!」ちなみに「ほんまけや」という銘柄の新居浜の地酒もある。